

【奨励賞】

金融にサブスクリプションを！ ～新しい時代をつくる「フィンスク・モデル」の提案～

麗澤大学 経済学部	渡邊 快明
〃	井筒 凱斗
〃	宮崎 陸希
〃	西野 桂市
〃	土屋 かなめ

（要旨）

現在、わが国の銀行は、収益性の低下という経営課題に直面している。一方で、こうした状況への打開策として、海外の銀行のように、口座維持手数料の導入が一案として考えられるものの、従前無料であったものを有料化する際のハードルは相応に高いものと思われる。

こうした中、本論文では、銀行サービスとサブスクリプションとを組み合わせた「フィンスク・モデル」を新たな銀行のビジネスモデルとして提言する。このビジネスモデルでは、利用者が、銀行に定額のフィーを支払うことにより、ATMの利用や他行への送金などを可能とする。また、銀行は、顧客基盤を生かした業務提携を保険会社や旅行会社などと進め、各種割引サービスを利用者に提供する。

本提言の「フィンスク・モデル」が、わが国の銀行の新しいビジネスモデルとして定着することで、銀行・利用者・業務提携先のすべてにメリットのあるサービスが提供できるものと考えられる。